



環境報告書 2023

(2023年4月～2024年3月)

DAIHO INDUSTRIAL CO.,Ltd. Environmental Report



大宝工業株式会社

CONTENTS

環境マネジメント

経営基本方針・環境方針 …………… 2

環境組織 …………… 3

環境負荷の全体像 …………… 4

環境活動 計画・実績 …………… 5

環境関連法規制の遵守 …………… 5

改善取り組みの事例紹介 …………… 6

製品への取り組み

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品] …………… 7

再生樹脂 [エコ リサイクルシステム] …………… 7

社会的な取り組み

社会、地域への貢献活動 …………… 7

環境レポートの範囲

●対象範囲：国内事業場

大宝工業（株） 本社
金型事業部関東工場
金型事業部関西工場
関東カンパニー足利工場
関東カンパニー大田原工場
関西カンパニー湖南工場
関西カンパニー河野工場
関西カンパニー鳥取工場
関西カンパニー名古屋営業所
九州カンパニー福岡工場
九州カンパニー大牟田工場

タイロン（株） 枚方工場 那須工場
大牟田工場 中部営業所
東京営業所

大宝浜松（株）

●対象期間：2023年度（2023年4月から2024年3月）

2022年度以前の環境取り組みも一部紹介しています。

ホームページでの開示情報

環境への取り組み

<https://www.daiho-gr.co.jp/eco/eco.html>

企業情報

<https://www.daiho-gr.co.jp/profile/outline.html>

発行

2024年7月（次回発行は2025年7月予定）

環境報告書に関するお問合せ先

大宝工業株式会社 環境事務局

〒570-0003 大阪府守口市大日町1-3-7

TEL 06-6908-8126

FAX 06-6909-5139

発行責任者：高桑恒治

経営基本方針・環境方針

大宝グループ 経営基本方針

1. 限りなき創造性を発揮して、新しい技術、新しい商品を開発し、社会の繁栄に役立つ仕事をしよう
2. 社会からお預かりしている、数多くの貴重な経営資源を大切に扱い、すすんで活用しよう
3. かけがえのない地球環境を、将来の世代に遺し、心豊かな人間集団づくりを通じて、社会生活の改善向上に役立つ

大宝グループ 環境方針

スローガン 「私たちは環境に思いやる人づくりをめざします」

1. ISO14001：2015の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを構築し推進します。
2. 大宝グループとして継続的に環境活動の成果を向上させるために、マネジメントシステムの継続的な改善と環境保護（汚染予防・地球温暖化防止）に取り組めます。
3. 事業所内・外の良好な環境維持のため環境負荷改善に取り組めます。
 - 環境に有益な事業活動（リサイクルの推進等）
 - エネルギーの効率的使用
 - 資源の効率的使用
 - 廃棄物の削減
4. 環境法規制等、組織の順守義務を遵守します。
5. 環境目的を達成する積極的な人づくりを推進します。

大宝環境憲章

大量生産、大量消費、大量廃棄型の産業構造や都市型の生活様式によって、地球温暖化、森林破壊、産業廃棄物処理、ダイオキシンや環境ホルモンなど有害化学物質の影響をうけて、環境汚染が地球規模で進行しつつあります。

大宝グループでも、プラスチック成形あるいは2次加工の過程で知らず知らずのうちに、さまざまな形で環境に負担をかけています。

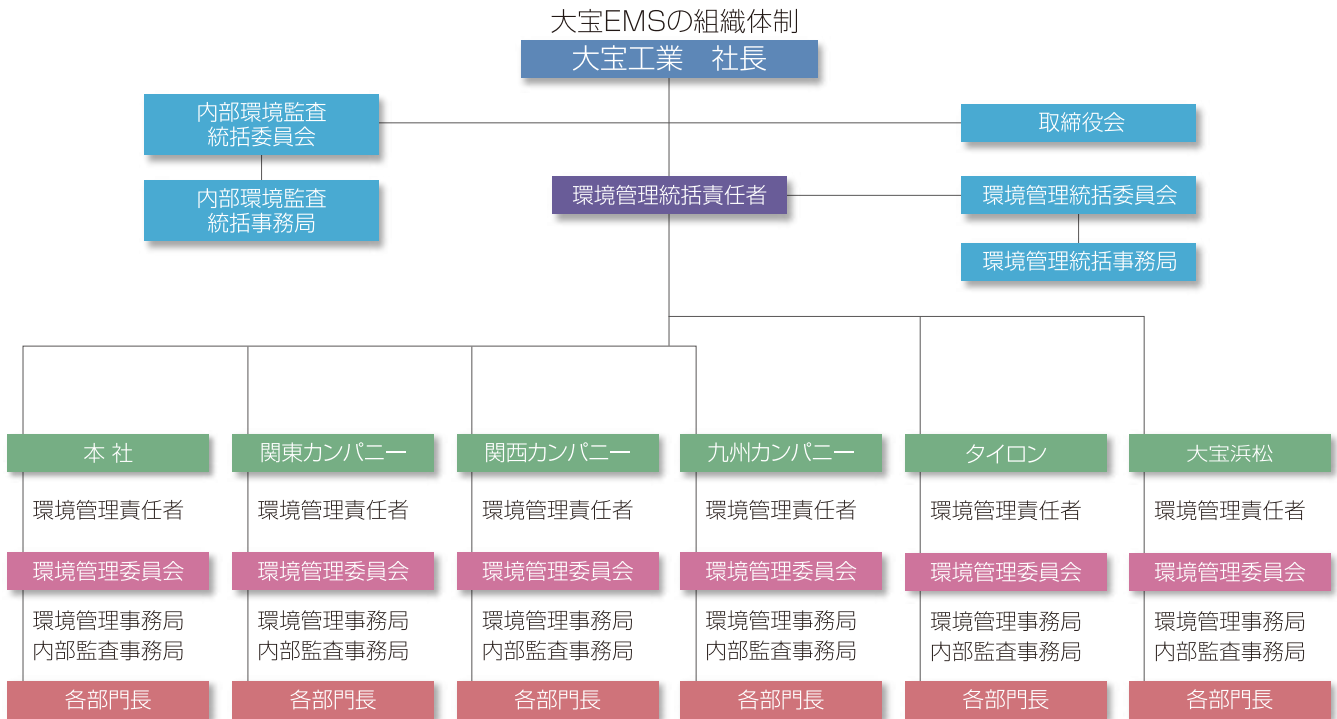
私たち社員とその家族は、かけがえのない地球を守り、恵み豊かな環境を子孫に引継ぎ、より心安らかな生活を過ごせるように、すべての社員が法規制を守り、さらに自主活動によって、環境への負荷が少ない循環・共生を基調とした事業を構築していかなくてはなりません。

このような認識に立ち、経営基本方針に「かけがえのない地球環境を将来の世代に遺そう」の言葉を付け加えました。そして、環境にやさしいプラスチック成形・加工事業に向けた全社員の自主的な取り組みを促進するため、主要事業所において環境管理システムの構築をすすめています。

すべての社員に、環境配慮の行動を徹底させるためには、身近な環境を愛し、日常的な活動から行動を起こすことが重要です。このため、大宝グループの全事業所および生産活動において、ISO14001の認証を取得し、一人一人が出来ることから一歩ずつ環境を守り育てる取り組みを開始しています。

環境組織

弊社社長のもと、環境担当取締役を統括責任者として環境管理体制を構築しています。



環境管理活動の取組み

大宝工業（株）は大宝工業社長、および環境管理統括責任者の基に本社・関東・関西・九州の各カンパニーが統合され活動を行っています。

タイロン（株）や大宝浜松（株）、海外事業所も、別サイトとして活動しています。

各事業所毎に環境管理委員会、内部環境監査委員会、専門部会を設置して、環境マネジメントシステムのPDCAを実行し、環境改善に取り組んでいます。

また、TV会議の利用拡大を行い、新型コロナウイルス感染防止対策と合わせて、出張や外出によるCO₂排出量の抑制に取り組んでいます。



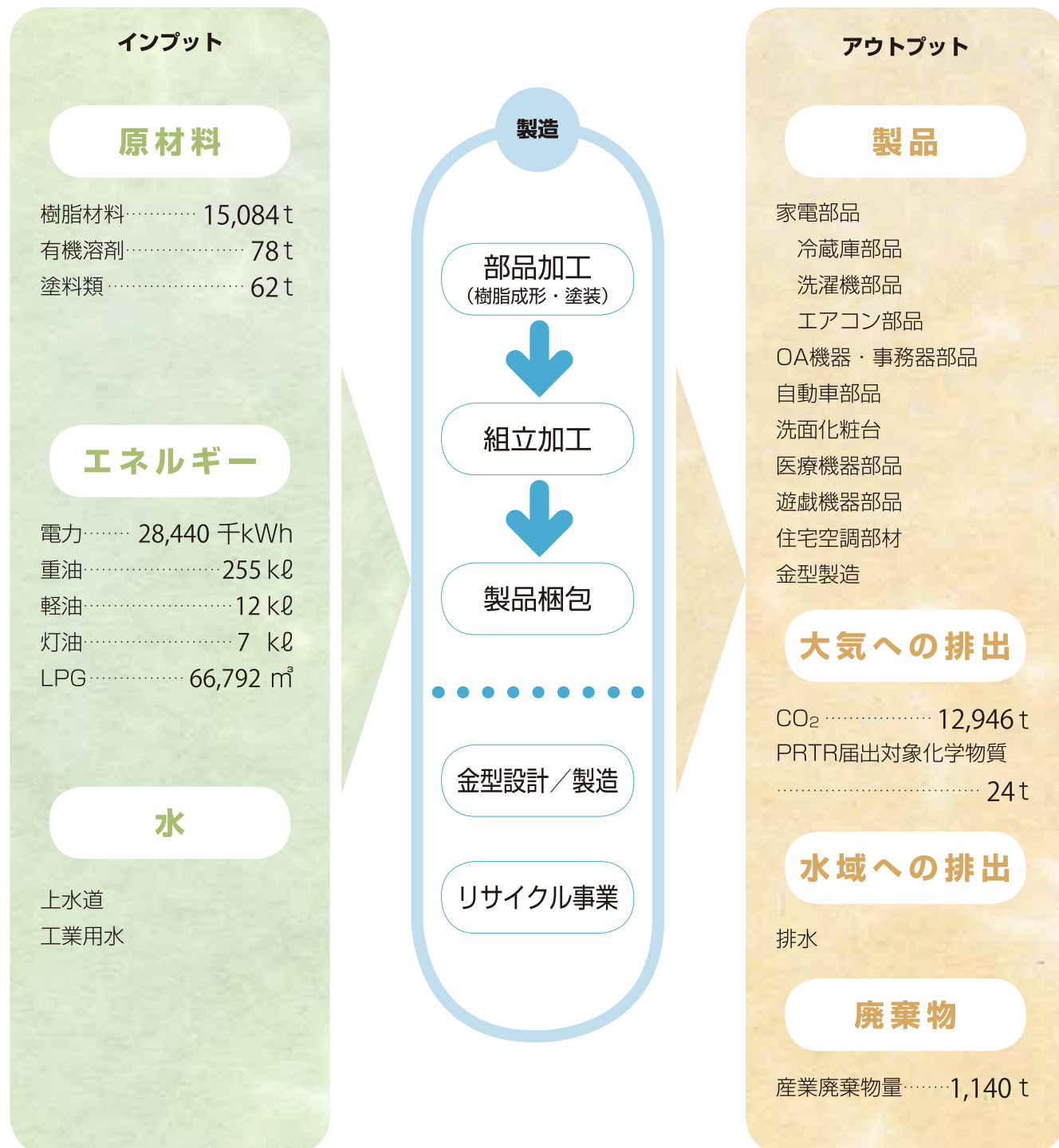
本社マネジメントレビュー



経営方針発表会(TV会議使用)

環境負荷の全体像

大宝工業では、家電や自動車等の各種部品の生産活動を行っています。弊社では、モノづくりにおける環境負荷を低減するため、省エネルギー、化学物質削減、廃棄物量低減などの取組みを展開しています。



環境活動 計画・実績

ISO14001環境マネジメントシステムに基づいて中期目標を定め、それをもとに年度ごとに達成目標を掲げて環境改善に取り組んでいます。

| 取組み項目 | | 2023年度活動内容 | 対前年度実績 |
|------------------------|--|---|--|
| 環境に優しい物作り (省エネ・省資源) | <ul style="list-style-type: none"> ◇電力使用量の削減 ◇原材料ロスの低減 ◇製品不良率の低減 ◇VOCの削減 | <ul style="list-style-type: none"> ◇電動式成形機の導入。エコカーへの切替え LED照明への切替 ◇各事業所単位の電力使用量と電気料金をグラフ化し、電力削減意識の向上を図っている ◇小集団活動(「0」に挑戦!)の取組み ◇デマンド監視装置の運用 | 電力使用量(総量) 2.1%増加 電力使用量(原単位) 7.8%減少 |
| 地球温暖化防止 (CO2排出量の削減) | <ul style="list-style-type: none"> ◇CO2排出量削減 ◇月次排出量一覧表作成により意識付け ◇環境表彰制度 ◇社内報に環境関連記事を掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ◇2010年度より、各事業所単位のCO2排出量と原単位をグラフにしフィードバック、各社のCO2削減意識の向上を図っている ◇改善事例の水平展開 | CO2排出量(総量) 1.8%減少 CO2排出量(原単位) 11.3%減少 |
| 産業廃棄物の削減 およびリサイクル | <ul style="list-style-type: none"> ◇廃棄物の有価物化 ◇リサイクル | ◇PPリサイクル材生産目標 880,590kg | 実績 750,733kg |

環境関連法規制の遵守

環境に関する重要な法律の施行、改正を監視し、常に法律や関係する団体から求められる規制を守り、違反の無いよう定期点検を行っています。また、大気汚染、騒音・振動にかかわる規制項目については、各事業所ごとに認定機関による測定を行い、基準値内であることを確認しています。

| 管理項目 | 2021年度実績 | 2022年度実績 | 2023年度実績 |
|------------|----------|----------|----------|
| 省エネ法 | 企業単位で届出 | 企業単位で届出 | 企業単位で届出 |
| 地球温暖化法 | 企業単位で対応 | 企業単位で対応 | 企業単位で対応 |
| 廃棄物 | 適正処理 | 適正処理 | 適正処理 |
| PRTR法化学物質 | 適正管理 | 適正管理 | 適正管理 |
| 自動車NOx・PM法 | 入替実施 | 入替実施 | 入替実施 |
| 大気汚染 | 基準値以下 | 基準値以下 | 基準値以下 |
| 水質汚濁 | 基準値以下 | 基準値以下 | 基準値以下 |
| 騒音・振動 | 基準値以下 | 基準値以下 | 基準値以下 |

※環境に関する重大事故、苦情はありませんでした。

改善取組みの事例紹介

エコ改善内容 1

九州カンパニー福岡工場の射出成形機を型締力450ton油圧機から型締力650ton電動機に更新しました。これにより、使用電力量、電力料金共に約38%削減が見込まれます。(各数値は稼働状況により変化します。)



更新前

年間電力使用量
223,776kWh

年間電力料金
3,390,206円

更新後

年間電力使用量
139,154kWh

年間電力料金
2,108,183円

効果

電力使用量
84,622kWh
節減

電力料金
1,282,023円
節減

エコ改善内容 2

カーボンニュートラルの取組みを大宝工業・国内工場と大宝浜松で開始しました。

既にお客様の要請に対応して、各工場ごとに取組みを行っていましたが、社長を先頭に、大宝グループとして取組む事としました。

今後、グループ子会社のタイロンや海外工場も取組みに参加する予定です。



大宝グループ（国内）

2019年度（実績）

温室効果ガス（GHG）排出量
13,947ton

2030年度（目標）

温室効果ガス（GHG）排出量
9,763 ton

目標

温室効果ガス（GHG）
2030年度に2019年度比30%削減

製品を通して環境貢献

環境への負荷軽減に貢献する製品の研究・開発・展開を推し進めています。

紙成形品 [PIM パルプ射出成形品]

大宝グループは1995年に、プラスチックにかわる成形材料の開発に着手し、長年培ってきたプラスチック成形加工技術との融合を目指してきました。パルプ射出成形は、主成分にパルプと澱粉を用いた成形材料を射出成形して、3次元立体構造物を実現する新技術です。



PIM 製トイカプセル (サンプル)

景品付きゲーム用カプセルに採用されました。

再生樹脂 [エコ リサイクルシステム]



廃家電から取出したPP(ポリプロピレン)樹脂を回収し、金属除去、異物除去工程後、当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液(天然素材)で食品衛生法の基準をクリアーできる再生樹脂を生産しております。

社会、地域への貢献活動

大宝グループでは、素晴らしい社風作りと地球環境問題を経営課題と捉え、1999年に「大宝環境憲章」を制定しスタートしました。「環境に思いやる心」を持つを合言葉に、全社員が環境憲章をよく理解し、納得し、そして具体的な行動の出来る集団づくりを実践しています。

会社周辺の清掃活動

大宝グループ各社では、環境活動の一環として、定期的に工場周辺の清掃活動に取り組み、周辺地域の美化を推進しています。

